

# 漁業士認定事業

與那嶺 盛 次

漁業士制度は、地域漁業振興の中核的漁業者としての意欲を喚起し、その自主的活動の助成をはかるため、県知事が、優れた漁業青年を「青年漁業士」、現に優れた漁業経営を営みその経営を通じて漁業青年の育成に指導的な役割を果たしている漁業者を対象として「指導漁業士」及び「名誉指導漁業士」の認定を行うものである。

本県では、昭和61年度から「沖縄県漁業士育成事業実施要領」と「沖縄県漁業士認定審査会設置要綱」を制定し、平成13年度までに計64名が認定された。平成14年度には青年漁業士の称号期間を満40才未満から満45才未満に、指導漁業士称号期間を満65才未満から終身に改正された。

## 1. 漁業士認定審査会

沖縄県漁業士認定審査会設置要綱に基づいて漁業士認定審査会を開催した。

## 3. 平成14年度認定漁業士（年齢は認定当時）

氏 名	年 齢	漁 業 士 区 分	所 属 漁 協	漁 業 種 類
我 部 政 祐	65才	名誉指導漁業士	本 部 漁 協	モズク養殖・追い込み網漁業
照喜名 智	46才	指 導 漁 業 士	知 念 村 漁 協	定 置 網 漁 業
名 嘉 治 市	46才	指 導 漁 業 士	伊 是 名 村 漁 協	モズク 養 殖
諸 見 富 男	34才	青 年 漁 業 士	伊 平 屋 村 漁 協	モズク養殖・矛突漁業
仲与志 勇	37才	青 年 漁 業 士	久 米 島 漁 協	モズク養殖・パヤオ漁業

## 4. 平成14年度認定漁業士紹介

漁業士の平成14年度授与式が「第8回沖縄県青壮年・女性漁業者交換大会」の席上で行われました。今年度は本部漁協から我部政祐氏、知念村漁協から照喜名智氏、伊是名村漁協から名嘉治市氏、伊平屋村漁協から諸見富男氏、久

## (1)開催日時：

平成14年12月9日 午後2時～午後4時

## (2)開催場所：沖縄県庁4階会議室

## (3)出席者：漁業士認定審査会委員

## (4)議 題

①漁業士認定審査について

②漁業士辞退について

## (5)主な結果

市町村長及び漁協長から推薦され青年漁業士養成講座を終了した青年漁業士候補者2名指導漁業士候補者2名、名誉指導漁業士候補者1名について、審査し全員適当であると決定した。

## 2. 認定証授与式

平成14年12月9日の認定審査での審査結果を受け、平成15年1月15日下記の方々には水産会館において認定証を授与した。

米島漁協から仲与志勇氏がそれぞれ沖縄県漁業士として認定されました。

5氏のプロフィールを紹介します。

### ●名誉指導漁業士 我部 政祐

本部漁業協同組合の我部政祐さんを紹介しま

す。我部さんは、昭和12年生まれの65才であります。我部さんは昭和63年に指導漁業士に認定され、これまで地域漁業のリーダーとして活躍されております。昭和53年以降モズク養殖技術の開発普及に努める等地域内外への指導活動も積極的であります。近年は、専門分野を生かしたモズク種苗保存技術講習会や青年漁業士の認定に係る養成講座の講師として、また、養殖未経験者への実践指導等後継者育成にも努めております。さらに、漁協の理事4期12年間勤めその誠実な人柄と指導力は組合員をはじめ地域社会からも信頼されております。そういった実績が評価され、平成7年には沖縄県水産振興大会において、優良漁業賞を受賞、平成10年には本部町政功労者表彰式において、産業経済功労賞を受賞されております。

#### ●指導漁業士 照喜名 智

知念村漁業協同組合の照喜名智さんを紹介いたします。照喜名さんは、昭和31年生まれの46才であります。照喜名さんは、昭和63年に青年漁業士に認定されて以来、沖縄県漁業士会の副会長や若い漁業者確保推進会議の委員を務める等担い手育成にも積極的であります。漁業実績は、20年に及ぶ定置網漁業を営み漁業技術の向上による経営の安定を図る等独自の経営管理手法を確立されております。また、地元では漁協青壮年部に属し、若い漁業者との勉強会や知念中学のインターンシップを受け入れ後継者育成に努めるとともに、知念村議会議員（現在2期目）として組合員からも信頼され地域の信望も厚く、漁業振興にも積極的であります。

#### ●指導漁業士 名嘉 治市

伊是名村漁業協同組合の名嘉治市さんを紹介いたします。名嘉さんは昭和31年生まれの46才であります。名嘉さんは、本土より帰島後昭和36年に組合員となり、父の名嘉永保さんとモズク養殖を中心に漁業技術を習得し経営の安定・

拡大を図ってきました。平成4年には新造船を建造し、モズク養殖の規模拡大を図るとともに、近年は、モズク種苗保存技術を習得し、モズク養殖生産部会員への指導と種苗供給体制を確立する等伊是名村漁協のモズク生産拡大に寄与しております。また、研究心が旺盛で各種研修会に参加し、若い漁業者へ技術指導も積極的に行う等今後はシラヒゲウニの養殖との複合化を目指した漁業経営の確立が期待されております。

#### ●青年漁業士 諸見 富男

伊平屋村漁業協同組合の諸見富男さんを紹介いたします。諸見さんは、昭和43年生まれの34才であります。諸見さんは、平成8年に組合員となりこれまで、電灯潜り、追い込み網漁業、モズク養殖業と複合経営による生産の拡大を図ってきました。さらに、ブルーツーリズムの一環である「海の学校」では、ガイドとして活躍されております。また、平成14年には新造船を購入し、魚類養殖、シャコガイ養殖に取り組み現在、魚類養殖部会長、遊漁部会長を務め、陸上シャコガイ養殖グループのリーダーとして、トコブシ養殖にも取り組む等新技術導入や地域活動にも積極的であります。

#### ●青年漁業士 仲与志 勇

久米島漁業協同組合の仲与志勇さんを紹介いたします。仲与志さんは、昭和40年生まれの37才であります。仲与志さんは、平成6年に組合員となり兄の元でモズク養殖業、矛突漁業に従事し、漁業技術を習得されました。平成13年には漁船を購入し、パヤオ漁業にも従事する等複合化を取り入れた漁業経営を確立され、さらに、組合加入と同時に久米島漁協青壮年部に入会し、部の会計等を長く勤め部員から信頼され、平成14年には青壮年部長に就任し、部活動の一環としてシャコガイ養殖を計画する等リーダーとして後輩の指導や後継者育成にも積極的であり、今後の活躍が期待されております。